和田産婦人科医院
平市六丁目（交番隣り）
電話３１５番

呉服と服地
㊫ 北川
平市一丁目
電三九四番

三和新報
THE SANWASHIMPO
第７３５号　昭和２９年６月１７日第三郵便物便認可
日刊　日曜・祝・祭日を除く　講読料１カ月　８０円

９月26日
（水曜日）
発行者
三和新報社
平市田町
電話１０５３

最古の歴史
最新の技術
光 自転車 代理店
エビスヤ自転車店
TEL１４８３

山徳ホテルで二百万盗難
自稱日立市議ら二人組

平市寺子町山徳ホテル＝経営者山本トクエさん(三九)＝で二十五日午後三時ごろ止宿していた三人組に現金二百万円を盗れたと平署に届出た。

前夜同ホテルに止宿した自称茨城県日立市石炭販売業村井某（六〇すぐらい）同市会議員加藤某（三五すぐらい）北海道会社員某の三人はボストン・バックから現金五百万円を出してみせ山本さんを安心させたうえ、鉄くずでもうけられる話があると言葉たくみに誘い込み山本さんに現金二百万円を出させ、三人組は翌日十時ごろ市内常磐交通バスと三井タクシーハイヤーで映画に行つたまま約束の午後二時になつても帰らず、預けた二百万円も紛失しているので驚いて届出たもの。平署で調べたところ帳場に預けたボストンバックの中味は石けんが入つているだけであつた。サギ常習犯の手口らしく平署は出沢部長刑事ら二名を日立市に急派して捜査する一方三人組を指名手配した。なお、日立市議には加藤某なる人物はいないと日立署から連絡があつた。

落盤で死亡

二十四日午後六時十分ごろ常磐炭鉱鹿島坑内で落盤があり、鉄枠入れ替え作業中の採炭夫櫛出忠蔵さん(三五)は下敷きとなり死亡した。六名で作業中落盤があつたもので櫛田さんだけが逃げおくれて下敷きとなつたが他の五人は破片をかぶつただけで無事だつた。

土屋炭鉱にもぐり坑口

平石炭支局は平市赤井土屋炭鉱（経営者土屋吉五郎氏）にもぐり坑口のあるのを探知、二十五日炭業課新井係長、橋本技官の両名が調査したところ、無許可で掘つていた坑口六坑を発見　即日坑口閉鎖を行つた。調べによると坑口数ではこれまでにない大がかりなもので、去る七月ごろから六つの坑口を降し、労務者約三十人で約百五十トンの盗掘をしていたもの。石炭支局は全坑口を閉鎖するとともに経営者土屋氏を呼んで調べることになるが、石炭合理法第五十四条（無許可坑口開設）のほかに保安法、労基法の違反の事実もあるため鉱山保安監督部、労基署も乗り出すことが必至とみられる。なお土屋氏は春ごろも無許可坑口を降して盗炭をやつていたこともある。

三輪車にハネらる

二十五日午後六時十五分ごろ常磐市関船字稲ケ作地内の国道で小川村関場字上川原一二フリキ職箱崎清蔵(三四)は三輪車で常磐市水野谷字飯訪ケ崎六六農岡田ナヨさん(三〇)をハネとばし頭部に全治三カ月の重傷を負わせた。

磐城で店員に退職金
決れば今年中実施か

磐城商工会議所は二十八日各部会常任委員会を開いて店員の退職金制度について協議することになるが、商店会では既に賛意を表しているところもあり実施の見通しが濃い、正式決議を得れば今年中に実施の運びとなるわけだが、磐城市が各地区商店会に働けて実施した場合　機運の盛り上りつつある平市をはじめ県下商店会に与える影響は大きく、これを機会に各地区の商店会にも店員退職金制度が生れるものと思われ各方面から大きな期待が寄せられている。

あくまで自主的に

同商工会議所では早くから店員の退職金制度を研究中だつたが昨年店員の退職金制度を実施している宮城県石巻市商店連合会に照会、内容について詳細な討議を重ねてきたものである、構想によると就職と同時に退職積立金として月給の四パーセントを積立て退職の際に積立金と積立金額の百分の五十を支給するこの場合に結婚、店の倒産など合法的退職の場合にのみ適用され事故退職には支給しない方針で資格は勤続年数十年以上の場合となつている。現在磐城市内には約八百名の店員がいるが退職金制度はあくまで自主性をもたせ、強制的加入はさせない方針であるため商工会議所が実施したとしてもどれだけの単位組合がとりあげて実施するかが大きな悩みとなるようである。

商工会議所の話＝退職金制度は店員にできるだけ同じ店に永く勤めてもらうためと、店員の退職後の生活安定を図るのが目的であり、退職金のための退職というようなことは極力さけるようにしたいと考えてつくりたい。

二名死傷
バイクと機関車衝突

二十五日午後二時五十五分ごろ四倉町大浦字細谷地内の常磐線無人踏切りをモーターバイクで横断しようとした平市一町目新和商事農機具部事務員門馬隆さん(三七)＝常磐市八仙＝は下り貨物列車に衝突乗つていた四倉町大浦支所員鈴木充さん(三七)＝平市草野字泉崎＝は機関車の前車輪にまきこまれ即死門馬さんはハネ飛ばされて両足首切断　後頭部裂傷の全治二カ月の重傷を負つた。同踏切りは見通しがよかつたが門馬さんが一たん停車を怠つたもの、モーターバイクは大破、機関車の前部も小破したこのため同列車は二十三分遅れとなつた。

庭球、重量挙など出場決る
国体派遣石城勢、團長は蓮沼氏

県体協理事会ではきのう十月二十八日から五日間、神戸市で行われる第十一回国体出場選手の選考を行い。団長蓮沼龍輔氏以下第一次として十九種目百八十七名の派遣選手を発表したが石城関係ではお家芸の重量挙をはじめボクシング軟式庭球、バスケットボールなどに多くの選手が選ばれ活躍が期待されている。

石城関係選手つぎの通り。

軟式庭球＝監督＝根本武雄、大坪光夫、選手＝千葉ハツノ、大門セイ、渡辺コト、薗原洋子、宮川登、中島利男、佐藤一男、大平剛。

▽ボクシング＝海老原孝、佐藤邦晴、宍戸良雄、鈴木幸弘。

▽弓道＝石川佐中、柳沼美枝、吉川トヨ子。

▽重量挙＝監督＝地遍海　選手＝湧井康二郎、原善雄　神谷務夫　渡辺昌幸、鈴木武正。

▽柔道＝太田久仁侍。

▽陸上競技＝関井直英　蛭田公彦　阿部計、八代哲夫、多川欣一。

▽バスケット（常磐炭鉱）監督＝石川実、選手＝石上耐治、吉田孝長　猪瓜正敏　太田静男、渡部孝市、根本正行、白石克之、坂本徳重、滝口悦夫、浅沼利之、小針隆利、渡辺博。

柴田女史ら五氏
内郷教委

内郷市定例議会の二日目は二十六日午前九時から議事堂にひらき教育委員の任命について同意を求める件を上程満場異議なく島田兼吉林英郎、柴田コノエ、渡野博一、斉藤栄一五氏を承認した。略歴次の通り。

▽島田兼吉(七三)再、世済学会卒　医業、宮町竹之内

▽林英郎(五五)再　千葉医専卒、常磐炭鉱内郷病院長、内町前田

▽柴田コノエ(五二)再　無職　磐女卒、綴町町の内

▽渡野博(三二)新　青学卒、常磐炭鉱内郷鉱支部長　高坂町三本杉。

勿来教委もきまる

勿来市の新教育委員はきのうの市会でつぎのようにきまつた。阿部忠次郎(五七)教育長、佐久間清一(五九)土建業、小沢栄太郎(四三)会社々長、蛭田卓苗(四二)農業、鈴木一(四四)農業。

金銭登録器盗まる
けさ、草野で

二十六日朝七時半ごろ平市草野字長谷の家町田新作さん(三二)方店舗から金銭登録器一個（二万円相当）が盗まれた。

科学列車運行陳情
常磐観光協秋の対策

常磐観光協会役員会はきのう平市役所議事室で開き写真材料商と共催で来月七日植田海岸、二十八日夏井川渓谷で撮影会を行うほか本年七月から十月までの総合写真コンテストの開催、学童を対象とする自然科学列車誘致陳情、紅葉の夏井川臨時列車の運行陳情などをきめたほか秋の宣伝費、写真コンテストの各市町村分担金をきめた。

赤い羽根役員決る

常磐市赤い羽根共同募金委員会は二十五日午後一時から市役所会議室で結成目標額四十三万六千円を達成するため次の通り役員をきめた。

▽顧問矢吹荘司、越智英勇、磯野清治、秋竹守一、戸部光衛、大和田祐之▽会長金田亀治▽副会長御代清作、遠藤秀一。

柴燈護摩
ポスター募集

常磐観光協会、赤井嶽奉賛会では二十三日から平、磐城、常磐、勿来で行われる徳一大師中興開基千五百年遠忌赤井嶽柴燈護摩を記念して高校生からポスターを募集している。〆切三十日。発表は十月五日。入賞者は一等千円（一名）佳作二百円（十名）

天気予報

【明日】東よりの風がやや強く曇りにわか雨があろう。

【海上】シケてくる恐れがあるから十分注意。

人の往来

▽平市商工水産　観光課長顕岡多久氏は常磐線電化促進陳情のため二十五日上京。

▽同課主任福田秀雄氏は東北観光打合せのため二十六日仙台へ。

マルエお楽しみクイズ当選発表

懸賞、お楽しみクイズは各方面の皆様より御応募数八百五十七通に達しましたことを厚く御礼申上げます。正解者三百四十一名で抽せんは御来客様並に東京問屋、三和新報社、いわき民報社、常磐毎日新聞社立会のもとに厳正に行いました結果左の三十一名様が当選いたしました

正解者

平市中町　三瓶村子
平市北目町　西田みや子
平市才槌小路　渡辺ツルヨ
平市杉平　吉田好子
平市桜町　林静子
平市大町　竜藤元子
平市田町　宮川明子
平市四軒町林様方　佐藤芳夫
平保健所　永井愛子
平市十五丁目　大塚好子
平市七軒町　鈴木真喜子
好間村上好間　志賀克子
常磐市湯本三函ノ山　吉田京子
常磐市湯本台　大井川洋子
常磐市龍ケ沢　高山美代子
常磐市下湯長谷　久保木妙子
常磐市吹谷　原平康子
常磐市湯本関船　元子
常磐市宝海　西田ツルヨ
常磐市江名　佐藤志登子
磐城市泉　曽田三枝子
磐城高坂町　虫本トラ
内郷市綴町　宮田昭子
内郷市大町　吉木安子
四倉町太夫坂一　古市寿子
四倉町本町　蛭田スエ子
勿来市植田町　油座美子
勿来市山田町　鈴木洋子
勿来市植田町　永井琴子
双葉郡双葉町　渡辺ヒデ子
双葉郡双葉町　根本ゆき子
双葉郡広野町

洋装生地
マルエ
平市三丁目　TEL２０２３

時計は根本
平二TEL６０７

新装開業
割烹旅館 翠月
平市の家町
新田３３２番
も平電

ダイヤモンドモ糸
新色全色入荷
半ポンド八〇〇円
ハシモトヤ糸店
平市銀座街　電一四番

電話譲受たし
平ホンダモーター
平市長橋町二五

録標登 商 水石山
大木屋の銘菓　電一六〇九

八代義定儀病気療養中の処（六十七才）廿五日午後九時十五分死去致しました茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます

追つて葬送の儀は二十八日午後一時より仏式により自宅で相営みます

昭和三十一年九月二十六日　磐城市御代字九反田

喪主　八代英
親戚総代　西丸吾良
友人総代　荒川源重

3炭鉱38名に部長賞

廿四日、保安優良表彰

全国鉱山保安優良炭鉱と個人に対する通産大臣賞の受与式（本社既報）は十月十八日東京で行われるが東京鉱山保安監督部平支部（支部長中野剛氏）の地方表彰式は十月二十四日午前十時半から平市大工町の労働会館で通産省鉱山保安局長ら来賓多数が参列して行い日曹赤井炭鉱ほか二炭鉱、一団体、三十八個人が保安監督部平支部長賞を受けるほか小田炭鉱ら五炭鉱にそれぞれ感謝状が贈られる。表彰者次の通り。

▽保安優良炭鉱＝山口炭鉱（茨城）日曹赤井炭鉱（福島）常磐炭鉱鹿島坑（同）

▽保安優良個人（管理者）＝山根外夫（大日本勿来保安管理者）別府忠与（古河好間同）村松信夫（常磐同）

▽普通保安技術職員＝佐竹喜一（大日本勿来）加藤徳平（山口）岡部一好（常磐）佐藤義雄（茨城）板垣伊佐男（常磐）

▽一般鉱山労働者＝小森幸三郎（小田）高橋嘉安、穴沢一、伊藤正平、高木二郎（常磐）笹原利助、森田春吉（古河好間）庄司浅之亟（大日本勿来）大和田岩枝（戸部）篠崎広作（小野田）岡崎徳雄（日曹赤井）寺内市郎（江藤）河西友議（品川黒田）池場栄、田中茂（茨城）福岸太郎（山口）内田与四郎（重内）梅津昇（高萩）中島勝男（櫛形）石川操（向洋）山形森弥（関本）石井敬太郎（須賀）

▽保安功労者＝井上温（常磐炭鉱内郷病院）

▽婦人＝山本トヨ子（古河好間）佐藤なつ（山口）藤田みつ（関本）

▽団体＝櫛形主婦会（代表吉弘サダ

▽家庭＝近藤貞好（茨城）十文字学（古河好間）渡辺熊蔵（山口）朝倉茂十郎（重内）

▽感謝状（災害減少三カ年計画優良炭鉱）小田、大日本勿来、古河好間、山口、高萩。

炭鉱鉱業所長遠藤章氏（※三）＝好間村大字北好間字並場一＝は炭鉱生活四十三年という生粋の炭鉱マンで大正二年茨城採炭株式会社に採炭夫として入社、以来終始一貫保安の第一線に立つて活躍してきたものであり、昭和十六年に現在の鳳城炭鉱株式会社小田炭鉱に勤め同二十二年に技術部、同二十五年鉱業所長兼保安管理者となつて保安第一線の陣頭指揮をとり、二十六、七年に連続保安優良鉱山として表彰を受け、さらに二十六年に個人表彰も受けている。

寮生の母

常磐炭鉱の高橋さん（※ご）は明治三十六年常磐炭鉱の前身である川平坑の採炭あと山婦として入社、大正五年に夫の勇五郎さんが同鉱四坑第七組長に就任するや夫を激励　かたわら労務者と家族をいたわり成績のよい坑夫には晩酌をサービスするなどよく他人の世話をなした。また昭和九年東寮開設と同時に寮主として迎えられ自ら炊事婦を指揮して給食業務に専念した。いまも寮生から慈母のように慕われている。

植田の敬老会

勿来市植田町公民館、同婦人会では二十八日午前十時から同町小学校で敬老会を行い楽しい一日をすごさせることにはつた。

〝かわず〟創刊

常磐市文化サークルかわずでは二十五日生活綴方「かわず」第一輯を創刊した。作品は羽根田一夫氏の「個と集団」志賀マツエ氏「反情」ほか八点。

常磐で選挙名簿

常磐市では十五日現在で基本選挙人名簿を作成するので早急に登載手続をするようのぞんでいる。これに登載されないと選挙の際投票できないことになつており十二月二十日で満二十才になるもの、今年九月十五日までに市内に三カ月以上引続いて居住しているものなどに特によびかけている。

七日植田小運動会

高齢者を招待

勿来市植田小学校では来月七日午前八時から秋季大運動会を行うが当日は高齢者を招待して慰安するなお雨、川部方部の小学校は三十日に運動会を行う。

大臣表彰者の横顔

石炭とともに43年

小田炭鉱の遠藤氏

通産大臣から全国鉱山保安優良個人として表彰される（既報）小田炭鉱鉱業所長遠藤章氏（※三）＝好間村大字北好間字並場一＝は炭鉱生活四十三年という生粋の炭鉱マンで大正二年茨城採炭株式会社に採炭夫として入社、以来終始一貫保安の第一線に立つて活躍してきたものであり、昭和十六年に現在の鳳城炭鉱株式会社小田炭鉱に勤め同二十二年に技術部、同二十五年鉱業所長兼保安管理者となつて保安第一線の陣頭指揮をとり、二十六、七年に連続保安優良鉱山として表彰を受け、さらに二十六年に個人表彰も受けている。

魚菜市況

カキ百五十円まで

青果　▽ゴボウ九〇―七〇▽ニンジン一八〇―二〇〇▽ナス八〇―一四〇▽キウリ七〇―三〇▽タマナ八〇―五〇▽ハクサイ一〇〇―七〇▽里イモ一八〇―八〇▽ナシ（長十郎）一〇〇―五〇（二十世紀）一五〇―八〇▽カキ一五〇―八〇▽イチヂク三五〇―二〇〇

今晩のラジオ

▼NHK第一

六・〇〇＝シンフン▽「祭の晩」
六・四〇＝スポーツだより
七・一五＝録音ニュース
七・三〇＝即興劇場
八・〇〇＝放送演芸会
九・一五＝希望音楽会
九・四五＝ラジオ喫煙室
一〇・一五＝ある日ある時
一〇・四〇＝風流うた草紙

▼ラジオ福島

六・〇五＝駿馬天狗
六・一五＝スイートコンサート
六・二五＝ドクロ銭
六・四〇＝ほうきれ王子
六・五〇＝音楽の小箱
七・一〇＝録音ニュース
七・一五＝人情夜話
七・三〇＝演芸甘辛亭
八・〇〇＝素人物まねコンクール
八・三〇＝浪曲落語
八・五〇＝キツコーツルアワー
九・〇〇＝明色アベツク歌合戦
九・三〇＝浪曲
一〇・〇五＝名作アルバム
一〇・二五＝福島昔ばなし
一〇・四〇＝夜の希望音楽会
一一・〇五＝時事解説
一一・二〇＝ラジオ演芸欄

今晩の映画

2日まで

平市

★聚楽館（一日まで）アメリカの戦慄　中共脱出（六、五〇）
★世界館　スタヂオは大騒ぎ　南極捕獲船団　日本かく戦えり（七、〇三）
★平　館　三羽烏再会す　わが町（七、〇〇）
★ひかり座（一日まで）争斗の丘　失われた大陸（六、四五）
★東　映　地下鉄三四郎　忍術快男児（七、〇八）
★民　劇　猫入娘と番頭　五十年目の浮気　ロマンス娘（七、〇〇）

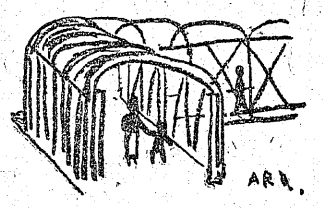
内郷市

★第二いわき（29日まで）ロマンス娘　富士は生きている　人肌蜘蛛（六、四〇）
★銀映劇（29日まで）　原始人間　令語楼のお巡りさん　死刑囚2455号（六、三〇）

勿来市

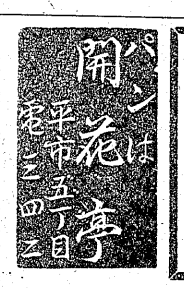
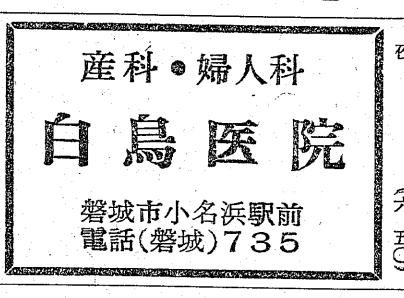
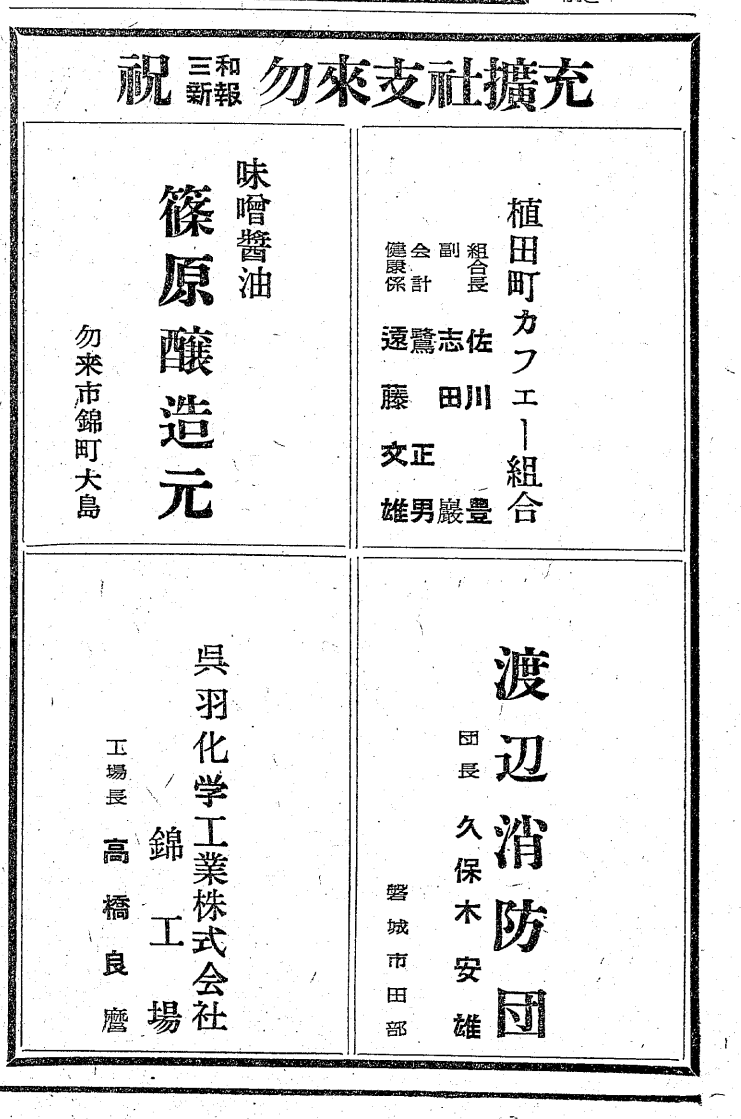
★菊多館（29日まで）　黒姫秘帳　楽天夫人（七、〇〇）
★植田館（26日まで）　旅鴉でござんす　高校卒業前後　動乱の前夜（六、五〇）

オラが国さの自慢話



普通「おはこ節」の唄は「秋田おはこ節」が一般に有名であるが、本場は私の郷里山形県鶴岡市の郊外泉村になつています。ただ佐藤定子さんが「庄内おはこ節」を変曲して唄つたのでおはこ節の本場は秋田おばこと感違いされているだけです。発詳地の泉村は出羽三山で有名な羽黒山麓にある村ですが、この羽黒山の山伏に恋した村娘の悲恋物語を唄つたのがそのおこりと伝えられています。宣伝下手な庄内人が秋田から「おばこ株」を横取りされたという、あまり自慢にならぬ笑い話ですよ。唄そのものも悠長で、どこか追分節調でローカル色をよく現している。唄を聞いても庄内人の気質は淳朴だということを唄つているような気がするね。とにかく拾いものをすると、それが百円札であろうが千円札であろうが「他人のものは手をつけるな」といつて道端の木にぶらさげ落主が探し当てるまで何時までも同じところにある、いまどきちようどうるわしい話です

石原將軍と庄内人

日興平営業所長　**佐藤良藏氏**

話が人柄になつたが、人に無理なことを言えぬ内気に見える庄内人も一たん言え出したら決してあとに引かんという頑固さがある。日本海々戦の参謀として旗艦三笠に乗つていた海軍中将佐藤鉄太郎氏などはその代表的人物で「日露戦争は俺がやつて勝つたんだ、東郷基地をつくつたのです。この人が郷里鶴岡市に帰つてきてからもアメリカ軍の幹部がよく出入りし、石原先生の意見を聞いていたことを知つている、こうなると日本の大物というより国際的な大物級になりますね。庄内人は飾り気がなく、正直だが一たん決心したことは鉄でも通すというねばり強さがあり、言葉がまずいというて控目になることはないのです、むしろ誇りを持つていくべきだと思つています。